

① マムロガワクジラ化石群

【発掘当時の様子】



【令和4年度山形県立博物館特別展の様子】



【化石発掘体験】



【メモ】

「マムロガワクジラ」とは、真室川町大沢の山中(割山)の約600万年前(新生代後期中新世)の地層から、1992年から1994年にかけて発掘された化石で、大型ヒゲ鯨類を中心とする複数個体が混合した化石群である。特に大型の個体が多く、推定体長が15～18mの個体もあり、当時の最大級の鯨も産出されており、鯨がいつ大型化したかなど、鯨の進化を考えるうえでも重要な化石である。

山の道路の法面で大きな骨の一部が見つかり、当初は一体の鯨が埋もれていると思われたが、発掘によってさまざまな鯨が蓄積した化石群であることが判明した。骨格は不完全であるものの、多数の個体が集中して発掘された例は国内でほとんどなく、貴重な記録として注目された。

令和4年度には発掘から30周年となることを記念し、山形県立博物館にて特別展が開催されたほか、令和5年度には町歴史民俗資料館において企画展「おかえりマムロガワクジラ展」が開催される予定である。

今回のツアーでは、当時発掘に携わった県立博物館の職員を講師にお招きし、当時の様子や発掘時の思いなどについてご講演いただくほか、学芸員の方から化石発掘体験で発掘された化石について解説していただく。

【参考：山形県立博物館ホームページおよび令和4年度山形県立博物館特別展チラシ】

令和4年度 山形県立博物館 特別展 チラシ
※現在は終了しております

令和4年度 山形県立博物館 特別展

発掘30周年・ マムロガワクジラ、 新生代の海を泳ぐ ～やまがた北部の古生物～

マムロガワクジラ
全化石を初公開！

令和4年 6月4日^(土)～8月28日^(日)

午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

※高校生以下は無料。障がい者とその付添いの方は無料。「学生」には専門学生等を含む。

休館日 / 月曜日 ※ただし7月18日(月)は開館、翌19日は休館

入館料 / 大人300円 (20名以上の団体150円)

学生150円 (20名以上の団体 70円)

山形県立博物館

〒990-0826 山形県山形市霞城町1番8号 Tel 023-645-1111
Fax 023-645-1112 URL <http://www.yamagata-museum.jp/>

主催 山形県立博物館 後援 真室川町教育委員会

協力 秋田県立博物館、岩手県立博物館、国立科学博物館、東北大学総合学術博物館、戸沢村教育委員会、
福島県立博物館、双葉町教育委員会、山形応用地質研究会、山形古生物研究会



発掘30周年・マムロガワクジラ、新生代の海を泳ぐ ～やまがた北部の古生物～



真室川町の発掘現場 (1993年秋)



大きな化石が現れる (1993年秋)



発掘現場を拡張する (1994年秋)



化石を石こうで保護する (1994年秋)

マムロガワクジラとは

真室川町大沢の山中の約600万年前(新生代後期中新世)の地層から、1992年から1994年にかけて発掘された化石で、ひとつの個体ではなく多数の鯨化石の総称です。

山の道路の法面で大きな骨の一部が見つかり、当初は一体の鯨が埋もれていると思われましたが、発掘によって様々な鯨が集積した化石群であることが判明しました。骨格は不完全ですが、多数の個体が集中して発掘された例は国内でほとんどなく、貴重な記録として注目されました。

マムロガワクジラはヒゲ鯨類を主体としており、特に大型の個体が多く存在します。推定体長が15～18mの個体もあり、当時の最大級の鯨も産出しています。鯨がいつ大型化したかなど、鯨の進化を考える上でも重要な化石です。



大型の肋骨化石



ナガスクジラ科の上腕骨化石



ナガスクジラ科の下顎骨化石(断面)



セミクジラ科の鼓室胞(耳の骨)

特別展の構成

今年是最初の発掘から30年を迎えることから、本展示が企画されました。展示は大きく3つのテーマ構成となっています。

テーマⅠ「マムロガワクジラ発掘される」では、マムロガワクジラの全化石を公開します。全化石を一堂に展示するのは初めてで、これまでの調査研究をもとにその全容にせまります。テーマⅡ「やまがた北部の古生物」では、新庄盆地などから産する鯨化石やさまざまな化石を紹介して、豊かだった新庄の内湾の古環境を探ります。テーマⅢ「東北の鯨化石」では、新生代に栄えた東北の鯨化石を紹介します。また、いまの鯨の骨格標本を展示し、海で多様に進化した鯨の過去と現在を結びます。

主な展示資料

◆マムロガワクジラ化石(ヒゲ鯨大型下顎骨、ヒゲ鯨前上顎骨、椎骨、肋骨、肩甲骨、上腕骨、とう骨、尺骨、V字骨、指骨、胸骨、鼓室胞、ほか。野口層、後期中新世) ◆マムロガワクジラ発掘時の化石(鰐脚類、サメ類、貝類化石、ほか。野口層、後期中新世) ◆真室川町鯨椎骨化石(野口層、後期中新世) ◆真室川町マッコウクジラ科歯化石(古口層、後期中新世) ◆真室川町産単体サンゴ化石(古口層、後期中新世) ◆大蔵村ナガスクジラ科頭骨化石(古口層、後期中新世) ◆戸沢村アカボウクジラ科頭骨化石(古口層、後期中新世) ◆庄内町ナガスクジラ科頭骨化石(科沢層、鮮新世) ◆戸沢村鰐脚類頭骨化石(古口層、後期中新世) ◆戸沢村セミクジラ科下顎骨化石(古口層、後期中新世) ◆新庄盆地産の各種貝類化石(中新世～鮮新世) ◆庄内町産鯨類化石(科沢層、後期鮮新世) ◆岩手県ミズホクジラ(竜の口層、前期鮮新世) ◆岩手県マエサワクジラ(竜の口層、前期鮮新世) ◆福島県フタバクジラ(富岡層、後期鮮新世) ◆福島県オオクマクジラ(富岡層、後期鮮新世) ◆現生骨格標本(セミクジラ鼓室胞、マッコウクジラ肩甲骨、マッコウクジラ歯、キタツクリクジラ、コマッコウ、イッカク)ほか。

関連行事

記念講演会(各回とも午後1時30分～午後3時)※演題は予定 定員25名程度

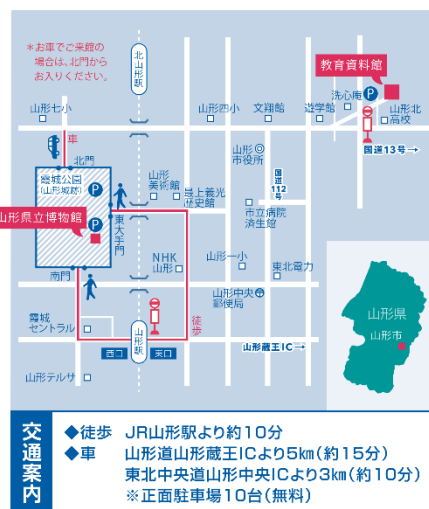
- ① 6月18日(土)「日本における2つの新種大型鯨類の発見と研究」
やま だ たかす 氏(国立科学博物館名誉研究員)
- ② 7月16日(土)「真室川町の地質とマムロガワクジラの古環境」
かわ べ たかゆき 氏(山形大学名誉教授)
- ③ 8月20日(土)「マムロガワクジラと山形の古生物」
長澤 一雄(本館学芸員)

展示解説会(①午前11時～午前11時30分 ②・③午後1時30分～午後2時)

- ① 6月4日(土) ② 7月2日(土) ③ 8月6日(土)

真室川町小中学校・マムロガワクジラ自由画展

8月3日(水)～8月28日(日) 体験広場



すべての「記念講演会」「展示解説会」は事前申込み制となります。詳しくは当館ホームページをご確認ください。